

# 初夏の自然とあそぼ！

対象児：1歳児ばら組  
作成者：坂本七海  
作成日：2024.06.05

○ねらい：初夏の自然に触れて、面白さや不思議さに気づく。



## ○保育の振り返り

朝の集まりの時間。「今日はお外遊びに行くよ～」伝えると、きちんと座って水筒のお茶を飲み、帽子を探して被ろうとする姿が見られるようになり、園での生活の流れが少しずつ分かるようになってきました。気温もだんだん高くなってきて、園庭の草花も青々としています。築山近くの葉が揺れてパリパリと音がしていたので、そっと覗いてみました。大きい葉っぱを見つけて、引っ張るとパリッと音がして、そのちぎれる感触を楽しんでいるようでした。葉っぱに穴をあけると喜んで、顔に近づけて穴から周りの景色を見てみたり、穴からまたさらにちぎってみたりと思い思いに楽しんでいました。築山にはカラスノエンドウが生い茂っており、保育者が豆を採って見せると、「まめ！どこ～？」と探し、カラスノエンドウが枯れるまで何日にも渡って採取を楽しむ子もいました。雨上がりには葉っぱに水が溜まっており、それを発見してちょんちょんと指で触る様子も見られ、子ども達の発見に驚かされる日々です。

身近にある『不思議』や『面白い』に出会い、日々成長しているんだなと感じます。子どもの今の興味や関心をしっかり見て、一緒に楽しんだり、言葉にして共感したりし、これからの豊かな成長を支えていきたいと思えます。（[自立心・自然との関わり](#)、[生命尊重](#)）